

第30期第1回京都市社会教育委員会議の模様を マナビィがレポート！～委員自己紹介編～



平成23年8月10日(水)、お盆前の蒸し暑い午後3時～5時、京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)で、第30期京都市社会教育委員会議の第1回目となる会議が開かれました。各界を代表する委員15名のうち12名が出席し、第1回目の会議ということで自己紹介や今後の会議の進め方、新しい事業について議論しました。

この会議はもちろん広く公開し傍聴を受け付けていますが…残念ながら傍聴者はゼロ！そこで、会議の模様をわたくしマナビィがダイジェスト版でレポートします！

■午後3時！さあ委員さんも揃ったところで…高桑三男教育長が御挨拶。

第1回目はやはり緊張感がある！教育長も緊張の面持ち…



■当日来られなかった門川大作市長からもメッセージが！

■まずは第30期委員さんの自己紹介の時間！

第30期社会教育委員は全員で15名、新任の方が6名。本日出席者は12名。五十音順に自己紹介していただきました。

○ 井上 章一委員(新任) 国際日本文化研究センター教授



勤め先は京都市の西の端にあります。分厚い資料を目の前にして戸惑っていますが、他の委員の皆さんの進め方を参考にさせていただいて、お役に立てればと思っております。

テレビでよく拝見しています！新たに御就任いただき、独自の視点からの御意見がどんどん聞けそう…

○ 井上 満郎委員 京都市歴史資料館長、京都産業大学名誉教授

現在の仕事は京都市歴史資料館長です。

東日本大震災は、日本人が経験したことないような「地域の消滅」という事態が起こりかねない状況です。京都もいつ災害がやってきても不思議ではありません。その場合、災害から復活するエネルギーやパワーの一つが、京都が京都であることで発生するネットワーク、地域アイデンティティで、その証としての歴史資料をお預かりしています。社会教育にもつながる仕事として大切にさせていただいております。



京都の積み重ねてきた歴史を保存する館の役割の大きさを計り知れない！井上館長さんのいる歴史資料館の情報を京まナビネットの施設情報で検索しよっと！



○ 大八木 淳史委員 元ラグビー日本代表・香川大学客員教授

タレントもしながら、高知県の中央高校でラグビーを教えたり、ラグビー普及の活動をしています。スポーツの可能性・価値創造をテーマに、母校の同志社大学の大学院で論文に挑戦しています。

東日本大震災の被災地に行ってきました。現場に行かないとわからない諸問題が子どもたちにも広がっていましたが、スポーツをしているときは非日常化されて、嫌な空気はなくなるような感じがしました。その延長線上に絆とか新しい取組が生まれれば良いと思います。



スポーツマンでかっこいいなあ。スポーツの可能性と生涯学習ってすごく結びついてるよね。



○ 小辻 寿規委員（市民公募委員） 立命館大学大学院生

京都市未来まちづくり 100 人委員会で部会長をしています。大学院では社会的孤立問題「無縁社会」に興味を持って研究してきました。大学院には高齢な方や、非常に遠くから通われる方がおられます。私自身、彼らに対して、インターネットなどを使い、授業・学びのフォローを行っています。これら様々な活動を通じて、皆さんの学びたいという強い気持ちを知ると同時に、生涯学習を推進するためには時間などの制限・制約が非常にあるということを痛感しました。いかに多くの方が生涯学習をできる環境を担保していけるのか、そして良くしていけるのかということテーマに委員に応募させていただきました。



60名にもものぼる応募者の中から選ばれた市民公募委員！委員の中で最年少の26才！フレッシュな意見に期待大です。



○ 齊藤 修委員 京都新聞社相談役

社会教育委員が大変大きな使命を持っていることを実感しています。今年から始まる基本計画の中に、『子どもを共に育む京都市民憲章の推進』があります。3.11の大地震、それに伴う福島原発事故を見ると、子どもたちの未来をどう守っていくかが改めて問われていると思います。原発の事故から我々が子どもたちの未来を守るために、2年間考えながら皆さんと議論ができればと思っています。



いつも市民の皆様と同じ目線から意見をくださるよ。時事的な問題に敏感ながらも、決して流されない御意見を持っておられるところはさすが！！

○ 佐伯 久子委員 京都ユネスコ協会会員



京都市地域女性連合会の副会長の佐伯です。私自身は地域のおばちゃん目線でしか御意見を申し上げられないかもしれませんが、地域の小学校の学校運営委員会の理事、中学校の評議員など務めさせていただいており、子どもたちに関わったことを発信できたらなと思っています。

御自身の子育ての経験はもちろん、地域の学校や女性会の活動などに取り組まれるバイタリティがすごい！



○ 茂山 千三郎委員 狂言師

肩書きはたった3文字の『狂言師』です。昨年までは、正直、社会教育委員というものの達成感がどうも見つからず、やり遂げた結果がみえてきませんでした。30期からは自分自身も動きたいという気持ちが出てきて、自分なりに達成感を得られればと思っております。



委員に狂言師さんが！「京都ならではの」だなぁ。自分自身も動きたい…ということは何か企画をしてくださるのかな？それは楽しみ！



○ 通崎 睦美委員 マリimba奏者



マリimba奏者としてリサイタルはもちろん、子供のためのワークショップなど、演奏だけでなく人との関わりを持ちながら活動をしています。京都のお話や大正～昭和初めの着物や文化に関するエッセイを書いたり講演もしています。

子どもと接することがあっても子どものいる家庭というのがピンとこなくて、地域やPTAの方のお話を聞くと改めて気づくことが多いです。今期は、茂山委員がおっしゃったように、人と関わり合いながら何かお役に立てることがあればと思っております。



通崎委員のマリimba演奏はとっても素敵！今後、演奏会等の情報が京まなびネットに出てくるかも？いつも鋭い御意見いただいています。

○ 土井 真一委員 京都大学公共政策大学院・法学研究科教授

京都大学公共政策大学院・法学研究科で憲法を教えています。勉強すること自体を仕事にしたこともあり、改めて生涯教育と言われても、あまりピンときません。そういう意味で、社会教育委員としてどこまで貢献させていたいただいているのか、反省しているところです。裁判員制度をはじめとする司法制度改革や法教育に関わってきたこともありますので、今期は少しでも貢献できればと思っております。



文部科学省（マナビの実家）の会議や様々な場で御意見を求められて大忙しの土井委員。法学と聞くとなんだか難しそうだけど、いつも的確な御意見をわかりやすく話してくださるよ。

○ 西脇 悦子委員 京都市地域女性連合会会長

社会教育委員の使命とは、地域の中でがんばって、皆さんに生涯学習の大事さに少しでも気づいていただくことではないかなと思っております。

地域のおばちゃんて難しいことは言えませんが、次の世代の子どもたち、その間にいるお父さん・お母さん方に何が今大事かということが発信できたらと思っております。大人が本当に大事なことに気づき、それを子どもにもしっかりと見せること。それを広げるためにも、生涯学習が大事でもあるとつくづく感じながら、地域のお役に立てたらいいなと思っております。



生涯学習は自らが楽しむということを実現しておられるよ。京都市地域女性会の会長さんです！

○ 野村 佳子委員（市民公募委員） 会社員

これまで子育てをしながら仕事を持って、小・中・高校のPTA活動に取り組み、現在も仕事と地域でのボランティア活動の両立を続けています。

子どもも成長し、前年度から大学父母会の副会長を務めさせていただく中で、その活動がボランティアであるという認識が自分の中でマッチしませんでした。そのような折、京都市教育委員会の『PTA活動は生涯学習の場である』という考え方に納得したのです。

親育てがPTA活動の要素であり、生涯学習であるという位置づけは素晴らしく、もう一步勉強する意欲を持ちました。会議では今までの経験を元に御提案させていただき、感じたこともお話できればと思います。



働きながら家事・育児をこなし、ボランティア活動まで！その経験を委員として活かしていただけそう！



○ 吉川 左紀子委員（新規）京都大学こころの未来研究センター教授・センター長

私の専門は認知心理学です。2007年にスタートした京大こころの未来研究センターは、人間のこころについて幅広く研究し、その成果を積極的に発信していくというミッションを持って活動しています。年に数回、公開シンポジウムやセミナーをしています。市民の方々にはいつも多数御参加いただきます。京都は知的関心の高いまちであると実感しています。

最近、人間の脳の研究が進んで、『知的な理解をするところ』と『感情的に物事を感じ取るところ』とそれを『行動につなげるところ』の分業体制の仕組みが少しずつ分かってきました。その3つのバランスが、どのように人間の生き方考え方を支えているのかを明らかにするのが、心の研究者の仕事だと考えています。そうした研究の成果をお伝えしながら、市民の皆さんの関心や問題意識を新しい研究につないでゆきたいと思っています。



センター長を務めておられる「こころの未来研究センター」のHPは情報いっぱい面白いよ。先生の研究と社会教育委員会議とのコラボに期待…☆



■当日、御欠席の方も御紹介します。

○ 奥村 高史委員（新規）平成21・22年度京都市PTA連絡協議会会長

現在、文部科学省の「学校運営の改善の在り方に関する調査研究協力者会議」の委員や、子どものために大人が何をすべきか考え行動する、市内100を超える団体のネットワーク組織「人づくり21世紀委員会」の幹事長も務めていただいている方です。

○ 林 早苗委員（新規）京都市小学校長会本部役員・京都市立仁和小学校長

小学校の校長先生を代表して就任いただきました。

○ 松重 和美委員 京都大学工学研究科教授

専門分野は有機・分子エレクトロニクス、ナノテクノロジー、電気自動車など。京都大学VBL（ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー）施設長も務めておられます。

■ここで、議長・副議長の選出

- ・自薦・他薦がなかったため、事務局からの提案として、継続性を考慮し、井上満郎委員に議長、西脇悦子委員に副議長を引き続きお願いしました。

全会一致により、井上満郎議長、そして西脇悦子副議長を選出！！



議長・副議長就任にあたり、一言御挨拶がありました。

○ 井上 満郎議長

この委員会は文字通り社会の中の様々な分野の人間が集まっています。それぞれの分野から果敢な御発言をいただければありがたいと思っており、議長としてそれを引き出すことが仕事だと思っております。

○ 西脇 悦子副議長

いろんな方がおられ、年代も様々ですので、多くの皆様の意見を聞かせていただき、議長のお手伝いができたらと考えております。



さあ、いよいよ会議が始まる…



～会議編～に続く…